

教科	科目	学年	単位数	使用教科書	主な使用補助教材
地理歴史	世界史特講	3	2	詳説世界史(山川出版社)	グローバルワイド最新世界史図表(第一学習社)

1 科目の目標と評価の観点

目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度	
	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	

2 学習計画と観点別評価基準

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
第16章 第一次世界大戦とロシア革命	1 学期 (28)	①バルカン半島で緊張が高まった背景を理解する。②歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。③戦時外交および総力戦の特徴を理解する。④第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。⑤ロシア革命の経緯を理解し、その歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。	第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。	塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。	第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
第16章 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国		①第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。②西欧諸国における第一次世界大戦後の展開を多面的・多角的に考察し表現する。③国際協調をめぐる1920年代の前半と後半の変化を理解する。④イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を多面的・多角的に考察し表現する。⑤東欧・バルカン半島の新興国が直面した困難と、それに対応すべく築かれた体制を理解する。⑥1920年代	第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。	各国の国内情勢を写した図像資料や「十四カ条」などの資料をもとに、1920年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。	ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
第16章 アジア・アフリカ地域の民族運動		①第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。②日本の勢力拡大に対する中国・朝鮮の人々の対応を多面的・多角的に考察し表現する。③南京国民政府による中国統一達成までの経緯を理解する。④第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。⑤第一次世界大戦による西アジアの政治地図の変化を理解する。	第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。	民族運動の様子を写した図像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。	アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
第17章 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊		①世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。②ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響を理解する。③ナチス＝ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容を理解する。④ソ連の計画経済が	世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。	政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や●介石「盧溝橋事件に関する廬山談話」の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きに	アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
第17章 第二次世界大戦		①開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応を多面的・多角的に考察し表現する。②ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解する。③独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。④第二次世界大戦の終戦までの経緯を理解する。⑤第一次世界大戦と比較したうえで、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。	戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。	第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
定期考查	2				

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
第17章 新しい国際秩序の形成	2 学期 (3 8)	①戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。②冷戦開始および東西ヨーロッパ分断の進展について、それぞれの経緯を理解する。③国民党が共産党に敗れた原因を多面的・多角的に考察し表現する。④朝鮮戦争が東アジアの国際情勢に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。⑤東南アジアおよび南アジアの独立の背景や経緯を理解する。⑥現代の中東問題の要因を多面的・多角的に考察し表現する。	第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。	各国の様子を写した図像資料や「中華人民政治協商会議共同綱領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。	第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
第18章 冷戦の展開		①米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。②冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。③西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。④スターリン死後のソ連と東欧における変化を多面的・多角的に考察し表現する。	冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。	先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。	冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
第18章 第三世界の台頭とキューバ危機		①自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解する。②アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を理解する。③キューバ革命の背景および影響を多面的・多角的に考察し表現する。④国際社会が核兵器の制限に取り組むようになった経緯を理解する。	冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。	当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第2次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	第三世界の台頭とキューバ危機について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
第18章 冷戦体制の動揺		①国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格を理解する。②1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を多面的・多角的に考察し表現する。③ヨーロッパにおいて緊張緩和が進展した経緯を理解する。④ソ連のスターリン批判が中国へ与えた影響を理解する。⑤第三世界における開発独裁の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	ベトナム戦争をはじめとする1960年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。	1960年代の各地の様子を写した図像資料や「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動揺が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。	冷戦体制の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
第19章 産業構造の変容		①経済成長にともなう先進諸国の政策・社会の変化を多面的・多角的に考察し表現する。②1970年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのかを理解する。③オイル＝ショックが各国の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。④1960～1970年代の中東における変容の経緯を理解する。⑤1970～1980年代に進んだ開発途上国の工業化の経緯を理解する。	1960～1980年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。	原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	オイル＝ショックとその影響について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
第19章 冷戦の終結		①1970年代後半から80年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容を理解する。②ソ連で始まった改革と東欧革命との関係を多面的・多角的に考察し表現する。③東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。④ゴルバチョフの改革が挫折した原因を多面的・多角的に考察し表現する。	冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。	1990年前後の各地の様子を写した図像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。	冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
第19章 今日の世界		①旧社会主義国で起こった民族運動や民族対立の特徴を理解する。②冷戦終結後の東アジア諸国の変化を多面的・多角的に考察し表現する。③今日の東南アジア・南アジア諸国においていかなる政治的・経済的变化が生じているのかを理解する。④冷戦終結後のアフリカが有する課題と可能性を多面的・多角的に考察し表現する。⑤冷戦終結後も続く地域・民族紛争の背景や経緯を理解する。⑥経済における世界の一体化の経緯を理解する。⑦21世紀初めにアメリカ合衆国がおこなった戦争の背景や経緯を理解する。⑧今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を多面的・多角的に考察し表現する。	冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。	各地の状況を写した画像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。	今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
第19章 現代文明の諸相		①20世紀以降の科学技術の革新が人々の生活に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。②現代思想・文化における新しい潮流の内容を理解する。③両性の同権化の進展について、その経緯と残されている課題を理解する。	現代思想・文化の特徴をそれまでの文化・思想と比較したうえで理解している。	芸術作品を示した画像資料やジェンダー＝ギャップ指数を示した統計資料などをもとに、人々の世界観や生活のありようの変化を多面的・多角的に考察し表現している。	今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
定期考査	2				
	3 学期	大学入試準備			